

単元指導計画（第4学年）

Dream 4-9 What do you want? ほしい物は何かな

<Let's Try 1 Unit 7 What do you want? (食習慣, 食材) >

<単元の目標>

- 相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- 欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。
【外国語への慣れ親しみ】
- 世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付く。【言語や文化に関する気付き】

<単元の評価基準>

- 相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。【コ】
- 食材を表す語や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】
- 欲しい食材などを尋ねたり要求したりしている。【慣】
- 考えたメニューを紹介し合っている。【慣】
- 世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付いている。【気】

<使用表現・語彙>

【主な使用表現・語彙】

- ・ What do you want? I want (potatoes), please. ・ How many? (Two), please.
- ・ Here you are. Thank you.
- ・ 果物・野菜 (vegetable, potato, cabbage, corn, cherry), 飲食物 (sausage, meat, pork, beef), want
- 【繰り返しの使用表現・語彙】
- ・ What's this? It's (a fruit). ・ How many (apples)? Ten (apples).
- ・ Do you have (a pen)? Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen).
- ・ 果物・野菜, 飲食物, 数 (1-60)

<単元計画（4時間）>

時	目標と主な活動	評 価		
		コ	慣	気
1	<p>○世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付く。</p> <p>○食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>いろいろな果物や野菜を英語で言ってみよう。</p> <p>・【帯活動】アルファベット文字当て パズル <小文字> (Hi, friends! Plus)</p> <p>・【Let's Watch and Think】「えいぞうを見て、世界の市場</p>			○
			○	

評 価 規 準

- 世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付いている。
- 食材を表す語や、欲しい物を尋ねたり要求し

評 価 方 法

行動観察, 振り返りカード分析

	と日本の市場をくらべてみよう。」(Let's Try! 2) ・「果物や野菜の英語での言い方を知ろう。」 ・【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2) ・【Let's Play】「おはじきゲーム」(Let's Try! 2 P26-27)			たりする表現を聞いたり言ったりしている。	
2	○食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 <hr/> 友だちの好みを聞いて、オリジナルパフェを作ろう。 ・【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus) ・「今日の給食の食材を、英語で言ってみよう。」 ・【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2) ・【Let's Listen 1】「だれがどんなパフェがすきかを聞いて、線でむすぼう。」(Let's Try! 2 P28) ・【Activity 1】「友だちと果物カードをやり取りして、オリジナルパフェを作ろう。」	○	○	・食材を表す語や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いたり言ったりしている。 ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりしている。 ・考えたメニューを紹介し合っている。	行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析
3	○食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ○欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 <hr/> 友だちの好みを聞いて、オリジナルピザを作ろう。 ・【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus) ・「今日の給食の食材を、英語で言ってみよう。」 ・【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2) ・【Let's Listen 2】「野菜・果物について聞いて、線でむすぼう。」(Let's Try! 2 P29) ・【Activity 2】「友だちと食べ物カードをやり取りして、オリジナルピザを作ろう。」	○	○	・食材を表す語や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いたり言ったりしている。 ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりしている。 ・考えたメニューを紹介し合っている。	行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析
4	○相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 ○考えたメニューを紹介し合う。 <hr/> グループの「オリジナルピザ&パフェ」を紹介しよう。 ・【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus) ・【Activity】「グループでオリジナルピザ&パフェを考えよう。」 ・【Activity】「考えたオリジナルピザ&パフェを紹介しよう。」 ●単元振り返りカードの記入	○	○	・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。 ・考えたメニューを紹介し合っている。	行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析

Dream 4-9 What do you want? ほしい物は何かな

第1時 (45分)

- 目標：・世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付く。
 ・食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

準備：タブレット【デジタル教材 (Let's Try! 2, Hi, friends! Plus), ICT 教材】,
 絵カード (野菜・果物), ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導 入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。 <p>○【帯活動】アルファベット文字当てパズル<小文字> (Hi, friends! Plus)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材でパズルの文字を1枚ずつめくりながら, 何の文字かを当てるクイズを行う。 <p>○【Let's Watch and Think】「えいぞうを見て, 世界の市場と日本の市場をくらべてみよう。」(Let's Try! 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で外国の市場の様子を見て, 日本の市場との相違点や共通点を見つける。 <p>○本時のめあてを立てる。</p>	<p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇パズルのどの部分を開くかを言わせ, アルファベット小文字の形に慣れ親しむ活動を行う。</p> <p>◆答えを確認する際に, 英語らしい音を意識して一緒に言う。</p> <p>◇市場の様子や, 置いてある果物や野菜で, 日本でも見かけるものや変わっているものなど, 自由に気付いたことを発表させる。</p>	
<p>いろいろな果物や野菜を英語で言ってみよう。</p>			
展 開	<p>○【Let's Watch and Think】「えいぞうを見て, 世界の市場と日本の市場をくらべてみよう。」(Let's Try! 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度デジタル教材で市場の映像を見ながら, どんな野菜や果物があるかを言い, 英語で言ってみる。 <p>○「果物や野菜の英語での言い方を知ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 教材や絵カードを見ながら, い 	<p>◇apple など, 今までに慣れ親しんでいる語を発表させ, 英語での言い方を知らせる。</p> <p>◇映像を止めながら, 分かる表現を見つけさせる。</p> <p>◇この後の活動に向けて, 単数形と複数形の両方の言い方を練習する。</p> <p>◆外来語等で慣れ親しんでいる音と英</p>	<p>・世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付いている。</p> <p>【気】[行動観察, 振り返りカード点検]</p>

	<p>ろいろな果物や野菜を英語で言う。</p> <p>○【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを聞く。 ・指導者がペアで質問，答えにわかれチャンツを言って見せる。 ・ゆっくりのビートに合わせて，指導者が質問側、児童が答える側でチャンツを言う。その逆を行う。 <p>○【Let's Play】「おはじきゲーム」(Let's Try! 2 P26-27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある果物や野菜の言い方を確認する。 ・イラスト上におはじきを置く。 ・おはじきを置いている絵の語が発音されたら，おはじきを取る。 	<p>語の音の違いを意識して聞かせる。</p> <p>◇既習の What do you want? - I want ○○. How many? の表現を確認してから，出てくる果物・野菜の絵カードを提示して，ゆっくり言って聞かせる。</p> <p>◆指導者の一方は，合図を出しながら児童と一緒に言う。</p> <p>◇児童に What do you want? と尋ねさせ，指導者が I want ○○. と返す形で進める。</p> <p>◆机間指導を行い，語に慣れ親しんでいない児童のそばでゆっくり繰り返して言うなどの支援を行う。</p> <p>◇児童の実態に応じて，ペアで競争させたり，児童の代表に答えさせたりするなど，活動方法を工夫する。</p>	<p>・食材を表す語や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いたり言ったりしている。【慣】[行動観察, 振り返りカード点検]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本には様々な食べ物や食習慣があることに気付き，はっきりとした声で果物や野菜を表す語や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いたり言ったりしている。 <p>potatoes, cabbages, corns, cherries</p> <p>What do you want? - I want potatoes, please. How many? - Two, please.</p> <p>Here you are. - Thank you.</p>			
<p>ま と め</p>	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が世界の市場の様子から日本との共通点や相違点に気付き，日本語との音の違いを意識しながら果物や野菜を表す語や，ほしいものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしていた様子进行评估する。</p>	

Dream 4-9 What do you want? ほしい物は何かな

第2時 (45分)

目標：・食材の言い方や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
・欲しい食材などを尋ねたり要求したりする。

準備：タブレット【デジタル教材 (Let's Try! 2, Hi, friends! Plus), ICT 教材】，
絵カード (野菜・果物)，ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日，日付，天気を言う。 <p>○【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を見ながら言う。 <p>○「今日の給食の食材を，英語で言ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニュー表を見て，今日の給食で使われている野菜や果物を英語で言う。 ・デザートをつけるとしたら，何を食べたいかを発表する。 <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇アルファベットの読み方と音の関係に気付かせるように，英語らしい音を意識しながら一緒に言う。</p> <p>◇まず給食のメニューを英語で言い，どんな野菜や果物が使われているかを考えさせて，言葉を引き出す。</p> <p>◇指導者がやり取りの終わりごろに，”I like fruits parfait.” と言い，この後のオリジナルパフェ作成への意欲につなげる。</p>	
<p>友だちの好みを聞いて，オリジナルパフェを作ろう。</p>			
展開	<p>○【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりのビートに合わせて，指導者が質問側、児童が答える側でチャンツを言う。その逆を行う。 <p>○【Let's Listen 1】「だれがどんなパフェがすきかを聞いて，線でむすぼう。」(Let's Try! 2 P28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Let's Try! 2 P28) にある4つのパフェのイラストを見て，何が入っているかを確認する。 	<p>◇出てくる果物・野菜名を，絵カードを提示するなどして確認させる。</p> <p>◆指導者の一方は，合図を出しながら児童と一緒に言う。</p> <p>◇パフェに入っている果物名を，絵カードを提示して言いながら確認させる。</p> <p>◇活動の前後に，既習の ”Do you like ~?” の表現を使って児童に尋ね，次の活動につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食材を表す語や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いた言ったり

<p>・デジタル教材の音声を聞いて、ワークシートのパフェの中から登場人物それぞれのパフェを選んで線で結ぶ。</p> <p>○【Activity 1】「友だちと果物カードをやり取りして、オリジナルパフェを作ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフェ台紙と果物カードを準備する。 ・デジタル教材で果物の言い方の練習をする。 ・デジタル教材のモデル対話を聞く。 ・やり取りの仕方を練習する。 ・欲しい果物を尋ねたり答えたりして果物カードをやり取りし、カードをパフェ台紙に貼り、自分のパフェを作る。 ・作ったパフェをグループで紹介し合う。 	<p>◆聞き取りの苦手な児童には、ゆっくり読んだり、繰り返し聞かせたりする。</p> <p>◇お店屋さんごっこの要領で、果物を渡す側ともらう側に分かれて、”What do you want?” “I want strawberries, please.”などの表現を使ってやり取りをさせる。</p> <p>◇児童の実態に合わせて、ペアで作成させたり、自分のためではなく誰かのために作るという設定にしたりするなど、活動方法や内容を変えてもよい。</p> <p>◆机間指導を行い、なかなか言えない児童や、相手に伝わるように言えていない児童を支援する。</p>	<p>している。</p> <p>【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりしている。 <p>【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたメニューを紹介し合っている。 <p>【慣】</p> <p>[行動観察、ワークシート点検、振り返りカード分析]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるようにはっきりとした声で、欲しい果物を尋ねたり答えたりしてオリジナルパフェを作ったり、それを紹介したりしている。 <p><やり取り></p> <p>A: What do you want? B: I want strawberries, please.</p> <p>A: OK. How many strawberries? B: Three, please?</p> <p>A: Three? OK. Here you are. B: Thank you. A: You're welcome.</p> <p><紹介></p> <p>My parfait is “Carp Parfait”. One cherry, three strawberries, two apples and strawberry ice cream. It's red.</p>		
<p>まとめ</p> <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が相手に伝わりやすいようにはっきりとした声で、欲しい果物をたずねたり答えたりしてやり取りをしたり、自分の作ったパフェを紹介したりしていた様子进行评估する。</p>	

Dream 4-9 What do you want? ほしい物は何かな

第3時 (45分)

目標：・食材の言い方や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
・欲しい食材などを尋ねたり要求したりする。

準備：タブレット【デジタル教材 (Let's Try! 2, Hi, friends! Plus), ICT教材】，
絵カード (野菜・果物)，ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日，日付，天気を言う。 <p>○【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を見ながら言う。 <p>○「今日の給食の食材を，英語で言ってみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニュー表を見て，今日の給食で使われている食材を英語で言う。 ・給食に出たことのないメニューで，どんなものを食べてみたいかを発表する。 <p>○本時のめあてを知る。</p>	<p>◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇アルファベットの読み方と音の関係に気付かせるように，英語らしい音を意識しながら一緒に言う。</p> <p>◇まず給食のメニューを英語で言い，どんな食材が使われているかを考えさせて，言葉を引き出す。</p> <p>◇指導者がやり取りの終わりごろに，”I want a pizza.” と言い，この後のオリジナルピザ作成への意欲につなげる。</p>	
<p>友だちの好みを聞いて，オリジナルピザを作ろう。</p>			
展開	<p>○【Let's Chant】What do you want? (Let's Try! 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりのビートに合わせて，指導者が質問側、児童が答える側でチャンツを言う。その逆を行う。 <p>○【Let's Listen 2】「野菜・果物について聞いて聞いて，線でむすぼう。」 (Let's Try! 2 P29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Let's Try! 2 P29) の缶詰のイラストを見て，何が入っているかを声に出さずに予想させる。 	<p>◇出てくる果物・野菜名を，絵カードを提示するなどして確認させる。</p> <p>◆指導者の一方は，合図を出しながら児童と一緒に言う。</p> <p>◇前の単元でアルファベットの文字に慣れ親しんでいることから，文字に興味をもたせてこの活動につなぐ。</p> <p>◆聞き取りの苦手な児童には，ゆっくり読んだり，繰り返し聞かせたりする。</p> <p>◇答えを確認する際に，絵カードを提</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食材を表す語や，欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を聞いた言ったり

<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の音声を聞いて、ワークシートのイラストと文字を線で結ぶ。 <p>○【Activity 2】「友だちと食べ物カードをやり取りして、オリジナルピザを作ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ピザ台紙と食材カードを準備する。 カードにある食材の言い方の練習をする。 カードにあるもの以外で、自分がせたいものを発表する。 やり取りの仕方を練習する。 欲しい食材を尋ねたり答えたりして食材カードをやり取りし、カードをピザ台紙に貼る。カードにないものは自分でイラストを書き加えて、自分のピザを作る。 作ったピザをグループで紹介し合う。 	<p>示して下を書いてある文字を1文字ずつ指差しながら言う。</p> <p>◇前回と同様にお店屋さんごっこの要領で、食材を渡す側ともらう側に分かれて、”What do you want?” “I want tomatoes, please.”などの表現を使ってやり取りをさせる。</p> <p>◇児童の実態に合わせて、のせる食材の数を増やしたり、食材カードを付け加えたりしてもよい。また、自分のためではなく誰かのために作ったり、テーマを決めて作ったりするなどの設定の工夫をしてもよい。</p> <p>◆机間指導を行い、なかなか言えない児童や、相手に伝わるように言えていない児童を支援する。</p>	<p>している。</p> <p>【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> 欲しい食材などを尋ねたり要求したりしている。 <p>【慣】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えたメニューを紹介し合っている。 <p>【慣】</p> <p>[行動観察、ワークシート点検、振り返りカード分析]</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるようにはっきりとした声で、欲しい食材を尋ねたり答えたりしてオリジナルピザを作ったり、それを紹介したりしている。 <p><やり取り></p> <p>A: What do you want? B: I want green peppers, please.</p> <p>A: OK. How many green peppers? B: Six, please?</p> <p>A: Six? OK. Here you are. B: Thank you. A: You're welcome.</p> <p><紹介></p> <p>My pizza is “元気もりもり Pizza”. One big sausage, six green peppers, two tomatoes and cheese sauce. It's yummy.</p>		
<p>まとめ</p> <p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が相手に伝わりやすいようにはっきりとした声で、欲しい食材をたずねたり答えたりしてやり取りをしたり、自分の作ったピザを紹介したりしていた様子进行评估する。</p>	

Dream 4-9 What do you want? ほしい物は何かな

第4時 (45分)

- 目標：・相手に配慮しながら，自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。
・考えたメニューを紹介し合う。

準備：タブレット【デジタル教材 (Let's Try! 2, Hi, friends! Plus), ICT教材】，
絵カード (野菜・果物)，ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日，日付，天気を言う。 <p>○【Jingle】Foods (Hi, friends! Plus)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を見ながら言う。 <p>○本時のめあてを立てる。</p>	<p>◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇アルファベットの読み方と音の関係に気付かせるように，英語らしい音を意識しながら一緒に言う。</p>	
<p>グループの「オリジナルピザ&パフェ」を紹介しよう。</p>			
展開	<p>○【Activity】「グループでオリジナルピザ&パフェを考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のイラストと発表のモデルを見て，活動方法を知る。 ・グループでテーマを決めて，オリジナルピザ&パフェのイラストを描く。 ・グループで具材等の英語での言い方を練習する。 <p>○【Activity】「考えたオリジナルピザ&パフェを紹介しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の発表モデルを聞く。 ・グループで発表の内容を決め，役割を分担して，発表練習をする。 ・グループごとにイラストを見せながら，オリジナルピザ&パフェを紹介する。 	<p>◇グループでの話し合いの際に，ヘルシーピザやもりもり元気ピザ，カラフルパフェ，カーブパフェなどイメージをもたせて，のせる具材や入れる果物を考えさせたり名前をつけさせたりする。</p> <p>◆机間指導を行い，うまく活動できていないグループにアドバイスをしたり，言い方を教えたりするなどの支援を行う。</p> <p>◆机間指導を行い，うまく役割分担のできていないグループにアドバイスをしたり，言えていない児童のそばで一緒に言ったりするなどの支援を行う。</p> <p>◇発表後に質問をしてさらに言葉を引き出したり，形容詞を添えてそれぞれの良さを付け加えて言ったりして，さらに幅広い表現に触れさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に配慮しながら，自分のオリジナルメニューを紹介しようとしている。 <p>【コ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えたメニューを紹介し合っている。 <p>【慣】</p> <p>[パフォーマンス評価(発表)，行動観察，振り返りカード点検]</p>

	<p>・自分のグループ以外で、特に食べてみたいピザとパフェがどれかと、その理由を発表する。</p>	<p>◇学級の実態に応じて、シールで投票する、口頭でよいところを伝え合う、全てのグループに〇〇賞を与えるなど、活動のまとめ方を工夫する。</p>	
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <p>・自分たちの思いが相手に伝わるように工夫しながら、オリジナルピザ&パフェを紹介している。</p> <p>This is "元気もりもり Pizza". I want onions. I want a big sausage. I want many tomatoes. It's yummy. I like my pizza.</p> <p>This is "Carp Parfait". I want a cherry. I want three strawberries. I want two apples. I want strawberry ice cream. It's red. I like my parfait.</p>			
<p>ま と め</p>	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>・自分たちのグループの友達のアイデアでよかったところや、他のグループの友達の工夫、発表での言い方のよかったところなど、気付いたことなどを発表する。</p> <p>・単元ふり返りカードを記入し、自己評価を行う。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇意欲的に取り組んでいたことや、英語らしい言い方や相手意識をもった発表をしていた姿を評価する。</p> <p>◇4年生の外国語活動の授業で、様々なことを英語で表現してきたことを思い出させ、今後さらに英語を使っていきたいという意欲をもたせるような声かけを行う。</p>	